



テーマ：腸閉塞(イレウス)とは

腸閉塞(イレウス)は腸の一部が狭くなったり、腸の動きが悪くなることで内容物が詰まり、お腹が張って痛みが出たり、吐き気が起きたりする病気です。便をうまく排出できない腸閉塞は症状がひどい場合には命の危険も伴う怖い疾患です。

腸閉塞の主な症状

①腹痛

食べ物のカスが肛門方向に進めない場合、体は不要なものを排出するため腸を活発に動かし、腹痛を感じます。→痛みの強さが変わることが特徴です。



- ⇨徐々に強くなる腹痛
- ⇨突然激しい腹痛があり、ずっと続く

②腹部の膨張

肛門から排出できない不要物が腸の中にとどまり、お腹が膨れ、張りを感じる事が多いです。



③便やおならが出ない

排便やおならが止まってしまいます。



④嘔吐・吐き気

便として排出できないため吐き気や嘔吐の症状が表れます。重症の場合、口から便のようなものを吐く事もあります。



高齢者は、痛みを訴えない場合がある

高齢者は知覚感覚が低下していることがよく見られる。そのため、痛みに対する自覚症状が乏しく、多少の腹痛では訴えない場合が少なくない。手術が必要な場合でも感じ方が弱いため、周囲が軽度の痛みだと判断してしまい病気が進行するケースもある。注意が必要となる。

考えられる原因

腸管内の通過障害がある場合

◆大腸ガンを患っている

大腸の腫瘍、炎症性の病変が悪化したり拡大したりすると、腸管が狭くなり、閉塞が起きやすい

◆開腹手術をしたことがある

開腹手術後の傷や腸管の炎症を治癒させる働きが逆に、腸管と腹壁や腸管同士を癒着させる場合がある

腸管内の通過障害がない場合

◆腸管の運動マヒ

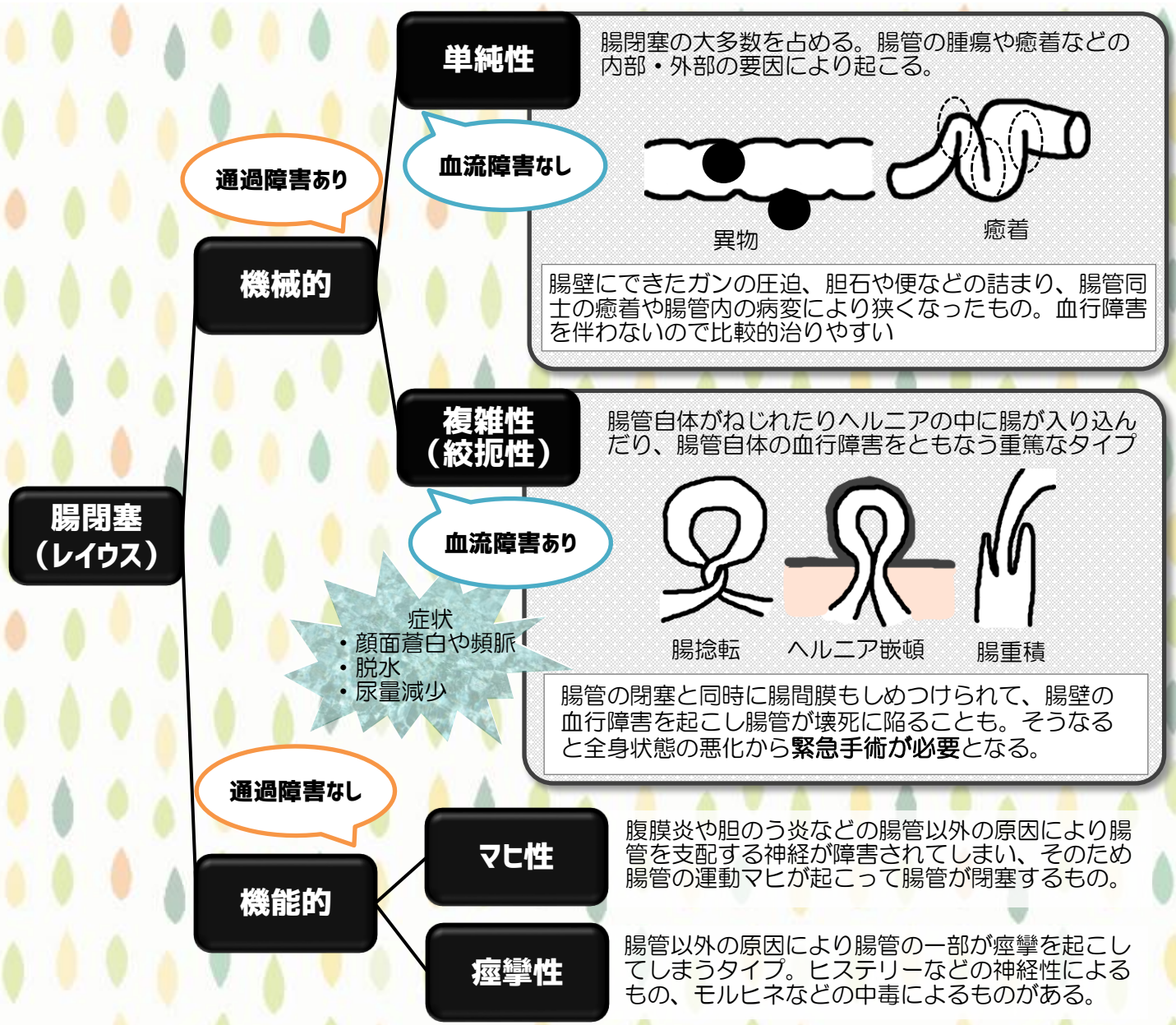
化膿性腹膜炎などにより、腸管壁の神経、筋が影響を受けて腸管運動がマヒしたために閉塞が起きる。

◆神経性のもの

ヒステリーや神経衰弱などの神経性因子により、腸管の一部が痙攣を起こしたために閉塞してしまう。

◆中毒によるもの

モルヒネやニコチン、鉛などの中毒により腸管の一部が痙攣を起こしたために閉塞してしまう。



高齢者の方の腸閉塞の予防

腸閉塞は一度改善しても再発することがあるので、ふだんから腸に負担をかけない食生活を心がけることが予防となる

- ①消化の良い食品を食べる
- ②排便習慣をつけ、我慢しないようにする
- ③毎日軽い運動をする
- ④ストレスの発散
- ⑤水分を多めにとり、暖かいものを飲む
- ⑥便秘の方は主治医に下剤の調整をしてもらう

- ・早食いや暴饮暴食はNG
- ・腹八分目、よく噛むことを意識

- ・軽い運動…ラジオ体操など
- ・ストレスは便秘につながる



消化に悪い食品
 きのこと類、おもち、黒豆、ゴボウ、セロリ、ゼンマイ、糸こんにゃく、フキ、海藻類など
 一度に大量にとらないようにする

～おわりに～

腸閉塞は自然に治る事はなかなかありません。年齢とともに身体の臓器も衰えて、腸の動きも低下しています。腹痛、嘔吐、腹満など“腸閉塞”を疑うような症状があれば早急に病院の外科受診をお勧めします。採血、エコー、レントゲン検査による診断結果に合わせた治療を受けましょう。